

# 公立高等学校入学者選抜のながれ

平成25年度  
入学者選抜から実施

〈現在の中学校2年生から対象〉

共通選抜  
(全日制・定時制・通信制)

## 全日制の課程

## 定時制の課程

## 通信制の課程

募集

・各学校の学科、コース等ごとに募集を行います。  
募集人員は、募集定員の100%とします。

・各学校の学科、部等ごとに募集を行います。  
募集人員は、募集定員の80%とします。(※2)

志願

・ひとつの課程、学科、コース等に志願します。志願の際には、入学願書と面接シートを提出します。  
・志願変更の期間中に1回の志願変更ができます。(他の課程にも志願変更可)

検査

・**共通の検査(学力検査・面接)**  
学力検査は、外国語(英語)・国語・数学・理科・社会の5教科を原則とします。  
・各学校の特色に応じて特色検査(※1)を実施する場合があります。

・**共通の検査(学力検査・面接)**  
学力検査は、外国語(英語)・国語・数学の3教科を原則とします。  
・各学校の特色に応じて特色検査(※1)を実施する場合があります。

・**面接または作文** 学力検査は行いません。  
・各学校の特色に応じて特色検査(※1)を実施する場合があります。

選考

【第1次選考】募集人員の90%まで、定められた算出方法(※3)により選考します。  
【第2次選考】資料の整わない受検者にも配慮し、調査書の評定は用いずに募集人員まで選考します。

調査書と、実施したすべての検査の結果を活用して総合的に選考します。

合格発表

各学校で合格発表を行います。

### 二次募集

募集定員に欠員が生じた場合、必要に応じて二次募集を行います。

## 共通の検査

### 学力検査

中学校で学習した、「基礎的・基本的な知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」を測ります。共通選抜では、全日制と定時制とは、別の問題で実施します。思考力等をこれまで以上に測る記述式の問題も出題します。出題例は、ホームページの「入学者選抜制度の検討について」の「神奈川県公立高等学校入学者選抜制度改善方針 説明資料」よりご覧いただけます。(平成23年12月上旬より公開予定)  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f160358/>

### 面接

調査書の評定や学力検査などの数値のみでなく、みなさんの個性や能力、適性を多面的にとらえ、特性や長所にも着目した面接を行います。また、中学校における学習意欲や、校内外の教科等以外の活動に対する意欲をみます。そのために、次の3つの「共通の観点」をもとに面接を行います。

- ① 入学希望の理由
- ② 中学校での教科等に対する学習意欲
- ③ 中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲

高校に入学してからの活動意欲や将来の展望など、「学校ごとの観点」を設定することもあります。

定通分割選抜  
(定時制・通信制)

募集

・各学校の学科等ごとに募集を行います。(※2)  
募集人員は募集定員の20%とします。ただし、共通選抜の募集人員に満たない場合は、その数を加えます。

志願

・ひとつの課程、学科等に志願します。志願の際には、入学願書と面接シートを提出します。  
・志願変更の期間中に1回の志願変更ができます。(他の課程にも志願変更可)  
国公立高等学校(高等専門学校を含む)に合格している場合は志願できません。

検査

・**共通の検査(学力検査・面接)**  
・各学校の特色に応じて特色検査(※1)を実施する場合があります。

・**面接または作文** 学力検査は行いません。  
・各学校の特色に応じて特色検査(※1)を実施する場合があります。

選考

募集人員すべてを、定められた算出方法(※3)により選考します。

調査書と、実施したすべての検査の結果を活用して総合的に選考します。

合格発表

各学校で合格発表を行います。

### 二次募集

募集定員に欠員が生じた場合、必要に応じて二次募集を行います。

### (※1) 特色検査について

特色検査は、実技検査・自己表現検査により、みなさんの総合的な能力や特性をみる検査です。各学校、学科等の特色に応じて行う場合があります。特色検査を行う場合は、学力検査を3教科にまで減らすことがあります。

《例》

#### 実技検査

- ・美術関連の学科(コース)：デッサン
- ・英語関連の学科(コース)：英問英答
- ・体育関連の学科(コース)：スポーツ種目
- ・音楽関連の学科(専攻)：独唱や演奏 など

#### 自己表現検査

- ・テーマに基づくスピーチ
- ・テーマに基づくグループ討論
- ・テーマに基づく作文
- ・提示された資料を活用した記述 など

(※2) 次の定時制の高校では、共通選抜での募集人員を募集定員の100%とし、定通分割選抜を設定しません。

- ・県立相模向陽館高校
- ・横浜市立横浜総合高校
- ・県立川崎高校
- ・県立厚木清南高校
- ・県立平塚農業高校初声分校

### (※3) 数値の算出について

調査書の評定

$A = (\text{第2学年の9教科の評定合計}) + (\text{第3学年の9教科の評定合計}) \times 2$   
ただし、3教科の範囲内で、2倍まで特定の教科を重点化する学校があります。

学力検査の結果

$B = \text{学力検査の合計得点}$   
ただし、2教科の範囲内で、2倍まで特定の教科を重点化する学校があります。

面接の結果

$C = \text{面接の得点}$

算出方法

調査書の評定A・学力検査の結果B、面接の結果Cをもとに算出します。それぞれを100点満点に換算した(a)・(b)・(c)を用いて、各学校が定めた比率f・g・hに基づいて、次の式により合計数値Sを算出します。

$$\text{合計数値}S = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h$$

(f・g・hは2以上の整数とし、f+g+h=10となるように設定されます。)

特色検査を実施した場合は、その結果Dを100点満点に換算した(d)を加えます。  
合計数値 $S = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h + (d) \times i$  (iは5以下の整数とします。)

クリエイティブスクール(県立田奈高校、県立釜利谷高校、県立大楠高校)は、学力検査を行いません。また、クリエイティブスクールと県立相模向陽館高校では、調査書の評定は選考資料として扱わないこととし、総合的な選考を行います。